

野外焼却（野焼き）による火災を防ぎましょう！

刈り取った草木や枯れ草などの野外焼却（野焼き）は、例外として認められているものを除いて、原則禁止されています。

また、例外として認められている野外焼却（野焼き）から、建物や原野、山林などに延焼して、火災になってしまうことがあります。これは、「焼却中にその場から離れる」、「消火が不十分」といった人為的な要因や気象状況の変化によって発生していますので、次のことに注意して火災を防ぎましょう。



《例外として認められている野外焼却（野焼き）》

●法令に基づく焼却



伝染病家畜、松くい虫被害伐木等の焼却

●風俗習慣上の行事のための焼却



火祭り、どんと焼き等

●農林漁業のためのやむを得ない焼却



草、木の葉、枝、もみガラ、わら等の焼却

●学校教育等のための焼却



キャンプファイヤー等

●落ち葉の焼却その他の一過性の軽微な焼却



落ち葉、一時的に出される少量の剪定枝、空き地の刈りとった草木の焼却

例外として
野外焼却が
認められるもの

※できるだけ市町村のごみ収集に出されるようお願いいたします。

※ 例外として野外焼却（野焼き）を実施する場合は、次のことに注意しましょう！

- ① 強風時や空気が乾燥している時は、実施しないこと。
- ② 風の向きや強さに気を付け、焼却時間は短くする。
- ③ 消火用の水や消火器を準備し、完全に消火するまではその場を離れない。
- ④ 火災とまぎらわしい煙が出る場合は、消防署に届出をする。

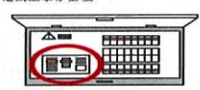
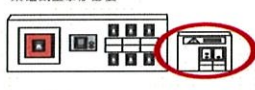

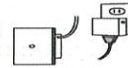


（野外焼却（野焼き）を許可するものではありません。）

電気火災を防ぐために感震ブレーカーをつけましょう！

「感震ブレーカー」は、地震発生時に設定値以上の揺れを感知したときに、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める器具です。感震ブレーカーの設置は、不在時やブレーカーを切って避難する余裕がない場合に電気火災を防止する有効な手段です。また、**耐震対策等と合わせて取り組むとさらに効果的です。**

- ① 避難路の確保等のために、建物の耐震化や家具の転倒防止に取り組みましょう。
- ② 復電する場合には、事前にガス漏れの確認や電気製品の安全を確認しましょう。
- ③ 復電後、焦げくさい臭いを感じた場合は、直ちにブレーカーを遮断し、安全確認を行いましょう。
- ④ 定期的な作動性能の確認や、部品等の交換を行いましょう。

製品ごとの特徴・注意点を踏まえ、適切に選びましょう！

<p>分電盤タイプ(内蔵型) 費用：約5～8万円(標準的なもの) ※電気工事が必要</p> <p>分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを切って電気を遮断します。</p> 	<p>分電盤タイプ(後付型) 費用：約2万円 ※電気工事が必要</p> <p>分電盤に感震機能を外付けするタイプで、センサーが揺れを感知し、ブレーカーを切って電気を遮断します。 ※漏電ブレーカーが設置されている場合に設置可能</p> 
<p>コンセントタイプ 費用：約5千円～2万円程度</p> <p>コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断します。</p> <p>(埋込型) 壁面などに取り付けて使うもの ※電気工事が必要</p>  <p>(タップ型) 既存のコンセントに差し込んで使うもの ※電気工事が不要</p> 	<p>簡易タイプ 費用：約2～4千円程度 ※ホームセンターや家電量販店で購入可能 (※電気工事不要)</p> <p>ばねの作動や重りの落下などによりブレーカーを切って電気を遮断します。</p> <p>おもり玉式  バネ式 </p>

感震装置のはたらき【分電盤タイプの場合】



盛岡市内の1月から2月までの火災件数

	令和7年	令和6年	比較増減
火災件数	10件	6件	4件増
死者数	1人	2人	1人減

令和7年2月中の火災7件の内訳

- 2月6日 浅岸二丁目 専用住宅1棟全焼、1棟類焼、車両2台焼損
- 2月10日 三本柳12地割 専用住宅1棟全焼
- 2月15日 緑が丘三丁目 店舗併用共同住宅1棟焼損
- 2月18日 本宮二丁目 車両1台焼損
- 2月19日 山王町 専用住宅1棟全焼、3棟類焼
- 2月22日 月が丘二丁目 共同住宅1棟ぼや
- 2月25日 好摩字好摩沢 堆肥舎1棟半焼